



米子市福市考古資料館通信

第15号

2024年12月



企画展2「縄文時代の米子ー豊かな森と海に暮らした米子の縄文人たちー」を開催しています

米子市福市考古資料館では、令和7年2月10日(月)まで企画展2「縄文時代の米子ー豊かな森と海に暮らした米子の縄文人たちー」を開催しています。

企画展では、米子の縄文人の生活や活動などの様子を紹介し、併せて、令和4年度に伯耆町根雨原で実施した根雨原土手下夕遺跡の発掘調査の成果を速報しています。ぜひ、この機会にご観覧ください。

米子市福市考古資料館 企画展2

縄文時代の米子

ー豊かな森と海に暮らした米子の縄文人たちー

開催期間
令和6年10月17日(木)
～令和7年2月10日(月)

会場
米子市福市考古資料館

開館時間
9:30～17:00
(最終入館 16:30)



上福万遺跡出土の縄文土器

同時開催
伯耆町 根雨原土手下夕遺跡
発掘調査速報展

令和4年度に発掘調査を実施した、伯耆町根雨原の根雨原土手下夕遺跡の発掘調査の成果を速報します。

休館日
毎週火曜日
11/6(水)
12/29(月)～1/3(金)
1/15(水)



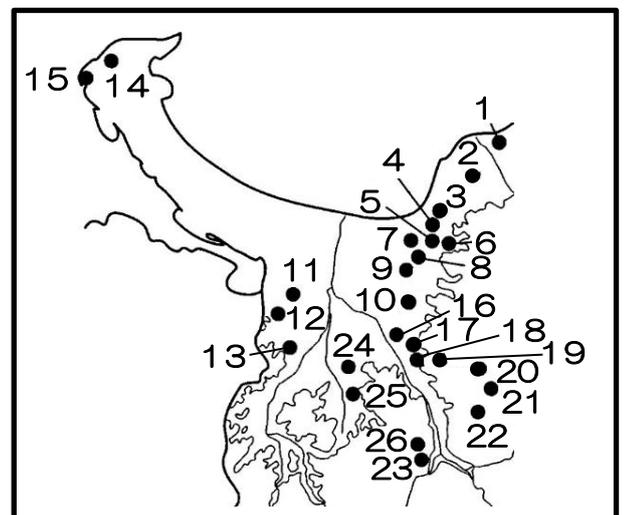
礫石遺構

企画展2 開催のお知らせ

- 開催期間 令和7年2月10日(月)まで
- 開館時間 9:30～17:00
(最終入館16:30)
- 観覧料 無 料
- 休館日 毎週火曜日
1月15日(水)

本号では、現在開催しています企画展に関連して米子市内の主な縄文時代の遺跡を紹介します。

1. 大塚遺跡群 2. 妻木法大神 3. 井手脛 4. 鮎ヶ口
5. 富繁渡り上り 6. 河原田 7. 大下畑 8. 百塚第7
9. 泉前田 10. 上福万 11. 目久美 12. 陰田遺跡群
13. 古市河原田 14. 北灘 15. 西灘 16. 岸本
17. 岸本下ノ原 18. 久古第3 19. 番原第6
20. 林ヶ原 21. 下山南通 22. 長山馬籠 23. 代
24. 田住人面装飾付土器出土地 25. 口朝金
26. 鶴田荒神ノ峯



米子周辺の主な縄文時代の遺跡

上福万遺跡（縄文時代早期）

上福万遺跡は、大山山麓の台地に位置する、早期後半を主体とする遺跡で、石を1ヶ所に集めた集石35基が見つっています。

集石は、拳大から人頭大の石を円形状または楕円形状に配しています。これらの集石の性格については、火を受けた範囲や炭化物の検出が認められないことから、炉跡の可能性はなく、祭祀遺跡としての性格が指摘されています。

また、出土した土器には、近畿や九州の土器に類似するものがあり、広範囲な交流が窺えます。



上福万遺跡の集石群

目久美遺跡（縄文時代前期）

目久美遺跡は、中海の沿岸に位置し、前期の遺構は見つかりませんが、この時期の多量の土器や石器、動物の骨や角でつくった骨角器(こっかくき)、動物の骨、植物の種や花粉などが出土しました。

遺跡から出土した動物の骨や植物の種や花粉から、当時の周辺の環境を復元すると、遺跡の前面には中海が広がり、背後には山があり、海の幸、山の幸に恵まれた環境となっています。

目久美遺跡から出土した動物・鳥・魚の骨

動物	シカ、イノシシ、イヌ、アナグマ、カワウソ、サルイルカ、クジラ、サメ
鳥	オシドリ、タンチョウヅル、カワウ、カイツブリ、コウノトリ、トビ、ヒメウ
魚	マダイ、クロダイ、スズキ、ブリ、マグロ、ウマツラハギ

目久美遺跡（縄文時代中期）

目久美遺跡は、中期には標高1.5~2mの平坦面のほぼ全域に点在するように48基の貯蔵穴(ちょそうけつ)が見つっています。直径1m前後、深さ1m前後、断面の形態はフラスコ形やU字形をしたものがあり、中からはドングリなどの堅果類、土器、石器、石、木片が検出され、貯蔵とアク抜きを兼ねていたと考えられます。

居住地は調査区南側の丘陵裾部に位置し、貯蔵穴は水際に位置していたと推察されます。



目久美遺跡の貯蔵穴群

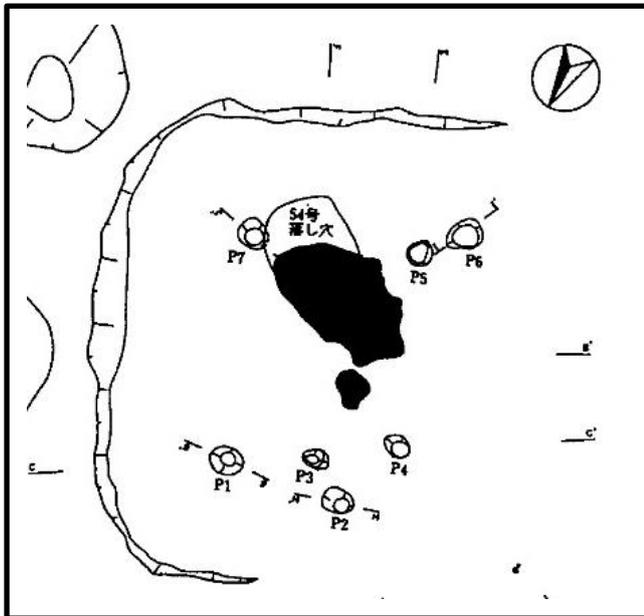
大下畑遺跡・百塚第7遺跡・喜多原第4遺跡・岡成第9遺跡（縄文時代後期）

大下畑遺跡、百塚第7遺跡、喜多原第4遺跡、岡成第9遺跡は、大山山麓に位置し、いずれも後期の竪穴住居や平地式住居が見つっています。

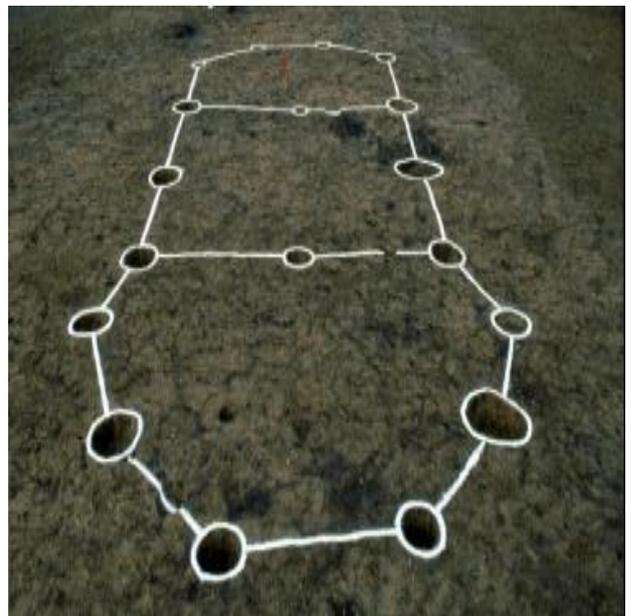
大下畑遺跡の竪穴住居は、後期中葉のもので、南に向いた斜面に築かれています。流失により部分的にしか残っていませんが、3基の柱穴と炉跡と考えられる焼土、柱穴の外側に壁際に巡る溝の一部が見つっています。

百塚第7遺跡の竪穴住居は後期前葉から中葉にかけてのもので、一辺が約4mの隅丸方形を呈しています。住居中心からやや南東寄りに焼土が広がり、炉跡が見つっています。

喜多原第4遺跡と岡成第9遺跡では、竪穴を掘らず、地面に柱穴を掘って、地上の上屋を組んだ平地式（ひらちしき）住居が見つっています。県内で見つかった平地式住居は、円形に柱穴を配置していますが、喜多原第4遺跡と岡成第9遺跡では、1間×2間の主屋の両側に半円形に柱穴が並び張り出しが付いています。このような住居は、北陸から東北地方に見られるいわゆる大型住居の形状に類似しており、集落内の共同施設ではないかと考えられていますが、両遺跡では、この時期の一般的な住居が確認されていないため、断定することはできません。



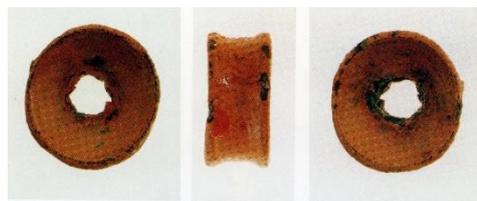
百塚第7遺跡の竪穴住居



喜多原第4遺跡の平地式住居

井手胯遺跡（縄文時代晩期）

井手胯遺跡は、旧淀江湾の沿岸に位置し、旧淀江湾に流れ込む大小の流路が見つっています。この流路からは多量の土器と共に木製品が出土しており、共に赤色漆を塗った結歯式の竪櫛（たてぐし）2点と耳栓（じせん）が出土しています。この他に容器の破片と残存長1.2mの鯉節（かつおびし）型の丸木舟が出土しています。



耳栓



結歯式の竪櫛

企画展3 「小町越城野原第11遺跡の発掘調査成果」を開催します

米子市福市考古資料館では、令和7年3月5日（水）から企画展3「小町越城野原第11遺跡の発掘調査成果」を開催します。

令和4年度から5年度にかけて伯耆町小町で実施した小町越城野原第11遺跡の発掘調査の成果を速報します。

会期は、令和7年3月31日（月）までとなっておりますので、ぜひ、この機会にご観覧ください。



越敷山138号墳出土の銀環

米子市福市考古資料館 企画展3

小町越城野原第11遺跡の発掘調査成果

令和4年度から令和5年度にかけて伯耆町小町で実施した小町越城野原第11遺跡の発掘調査の成果を紹介します。



越敷山137号墳 横穴式石室

開催期間 令和7年3月5日（水）～3月31日（月）
会場 米子市福市考古資料館
開館時間 9：30～17：00（最終入館16：30）
休館日 毎週火曜日 3月21日（金）
観覧料 無 料

問 米子市福市考古資料館
合 米子市福市 461 番地 20
先 TEL 0859-26-3784
(FAXは同番号)

企画展3 開催のお知らせ

- 開催期間 令和7年3月5日（水）～3月31日（月）
- 開館時間 9：30～17：00（最終入館16：30）
- 観覧料 無 料
- 休館日 毎週火曜日、3月21日（金）

発行者 米子市福市考古資料館（指定管理者 一財・米子市文化財団）
住 所 〒683-0011 米子市福市461-20番地
電 話・f a x 0859-26-3784（同番号）
休館日 火曜日・祝祭日の翌日・年末年始（12/29～1/3）